

令和4年度 林業アカデミーふくしま 短期研修実施計画及び研修内容(案)

資料3-1

令和4年2月3日現在

備考	区分	R4 (案)	講師	研修講座	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先			実施時期	研修 日数	定員	開催場所	グループワ ーク等想定班分 け
								市町村 職員	林業 事業者等	県職員					
	市町村実務	継続	県職員 外部講師	1 森林・林業の基礎	地域の森林・林業の中心的役割を担う市町村林務担当職員等を対象に、森林・林業に関する基礎的な知識を習得させ、担当業務を円滑に遂行できる職員を育成する。	森林・林業の基礎知識、優良林業事業者・木材市場等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割等	市町村林務担当職員等 (初任者レベル)	○	△	△	令和4年4月27日～28日	2日	20名	林業研究センター ほか	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員	2 森林計画制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林計画制度、市町村森林整備計画の実行管理(森林経営計画、林地台帳、伐採届、森林土地所有者届)、森林境界明確化等	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○	△	△	令和4年6月6日～7日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員 外部講師	3 森林整備事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林整備事業の概要、ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業、森林整備発注業務の実務、航空レーザー計測の林業への活用	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○		△	令和4年5月11日	1日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	一部変更	県職員 外部講師	4 森林経営管理制度の実務 (市町村対象)	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務、意向調査の実施計画作成、経営管理権集積計画作成、所有者探索業務	市町村林務担当職員 (実務担当者)	○	△	△	令和4年7月20日～21日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	事業者実務	一部変更	県職員	5 森林経営管理制度の実務 (林業事業者対象)	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林所有者への意向調査、経営管理実施権の配分	林業従事者等	△	○	△	令和4年7月22日	1日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員	6 森林土木事業の実務	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる職員を育成する。	森林土木事業の概要(治山・路網)林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習	市町村林務担当職員 (実務担当者)	○	△	△	令和4年5月26日～27日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	一部変更	県職員	7 測量・森林調査の基礎	測量(コンパス測量、レベル測量、ポール測量)の現場実習等を通じて測量機器の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務及び樹木測定等の調査ができる職員を育成する。	測量・作図実習、森林調査実習	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○	△	△	令和4年8月1日～2日	2日	12名	林業研究センター	4人×3班
技術者 養成	市町村・ 事業者共通	継続	外部講師	8 提案型集約化施策実践 ※森林施策プランナー協会認定 1次研修に該当(予定)	森林所有者に対する施策提案書の作成や提示、森林施策の集約化ができる、森林経営計画作成の中核を担う技術者を育成する。	提案型集約化施策の意義・進め方、目標林型と育林技術、集約化の実践、森林施策プラン作成、森林経営計画作成等	森林施策プランナーを目指す者等	○	○	△	令和4年10月3日～6日	4日	12名	林業研究センター ほか	6人×2班
技術者 養成	市町村・ 事業者共通	継続	外部講師	9 路網整備と作業システム(基礎)	路網整備と作業システムに関する基礎的な知識及び技術の習得により、地域における効率的な作業方法を計画・実行できる技術者を育成する。	路網整備の必要性、路網設計・作設方法・施工管理、路網と作業システム、ICT技術等	市町村林務担当職員(実務担当者)及び林業従事者等	○	○	△	令和4年5月19日～20日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
指導者 養成	事業者技 術力向上	継続	外部講師	10 路網整備と作業システム(実践) ※緑の雇用OJT指導員資格取得研修に該当	現地に適合した路網整備と作業システムの構築に必要な知識及び技術を習得し、素材生産性の向上に向けた指導ができる技術者を育成する。	森林作業道作設の基礎、路網計画作成、森林作業道作設実習等	森林作業道開設に関する指導者を目指す者		○		令和4年10月25日～28日	4日	10名	実習フィールド (予定)	5人×2班
ICT 関連	市町村・ 事業者共通	継続	外部講師	11 森林・林業でのドローン活用 (基礎)	ドローン等技術の活用により、森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化及び効率化を図るため、ドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術を習得する。	森林・林業でのドローン活用事例、航空法等の関係法令、ドローンの操縦方法、ドローンの基礎操縦・飛行撮影、オルソ画像作成	市町村林務担当職員及び林業従事者等	○	○	△	令和4年9月14日～16日	3日	12名	林業研究センター	4人×3班
ICT 関連	市町村・ 事業者共通	R4追加	外部講師	12 最先端の林業技術	森林施策の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術を習得させる。	大型ドローンによる苗木運搬、3Dレーザースキャナを活用した森林調査、路網設計支援ソフトを使用した線形計画	市町村林務担当職員及び林業従事者等	○	○	△	令和4年11月16日	1日	15名	林業研究センター	
労働安 全	事業者技 術力向上	R4追加	外部講師	13 安全な伐倒作業技術	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全かつ正確な伐倒技術を有する技術者を育成する。	伐倒練習機による安全かつ正確な伐倒技術を身につけるための反復実習	林業従事者等 ※伐木等の業務に係る特別教育修了者		○		令和5年1月30日～2月2日 令和5年2月14日～16日	7日	3名	林業研究センター	2日/1名以上
労働安 全	事業者技 術力向上	R4追加	県職員	14 高性能林業機械の操作	ハーベスタシミュレーター機器を使用し、高性能林業機械の特性や安全な操作方法に関する基礎的な知識及び技術を習得させ、効率的かつ安全に作業が行える技術者を育成する。	高性能林業機械の特性、安全な作業方法、搭乗型VRSシミュレーターを使用した模擬操作	林業従事者等		○		令和4年7月29日(AM・PM)	1日	6名 (AM3名・PM3名)	林業研究センター	シミュレーター 1台

令和5年度以降検討講座

				研修講座（追加案）	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先			実施時期	研修 日数	定員	開催場所	グループワ ーク想定班分け	
								市町村 職員	林業 事業者等	県職員						
技術者 養成	市町村・ 事業者共 通	R5以降 検討		15	森林保護管理	松くい虫やナラ枯れ被害等のメカニズムや被害対策等の知識及び技術を習得させ、的確で効果的な防除施策を実施できる技術者を育成する。	松くい虫・ナラ枯れ被害等の森林病害虫対策、鳥獣被害対策	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者 等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	12名	林業研究センター 実習フィールド	4人×3班
技術者 養成	市町村・ 事業者共 通	R5以降 検討		16	森林総合監理（前期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を育成する。	森づくりの理念と森林施業、森林・林業の構想、コミュニケーションとプレゼンテーション能力、森林経営計画と森林経営管理実施権配分計画	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者 等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	20名	林業研究センター	5人×4班
技術者 養成	市町村・ 事業者共 通	R5以降 検討		17	森林総合監理（後期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を育成する。	上記研修の演習	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者 等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	20名	林業研究センター	5人×4班
特殊機 械	事業者技 術力向上	R5以降 検討		18	架線集材	安全な林業架設作業を推進するため、安全な架設、撤去の作業手順、集材機の運転操作及び架線設計に関する知識及び技術を習得させ、安全に架線集材が実施できる技術者を育成する。	架線集材に関する知識、架設・撤去作業、ワイヤーロープの取扱、架線集材の設計	伐木・集材の現場経験○年以上の林業従事者		○		令和 年 月 日～ 日	14日	10名	林業研究センター 実習フィールド	5人×2班